

高松市教育委員会
保健体育課長 殿

学校名 高松市立川島小学校
校長名 伊勢 朋哉

公印
省略

令和4年度 高松市防災教育講師派遣事業報告書

次のとおり、標記事業を実施したので、報告します。

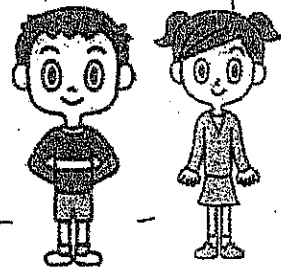
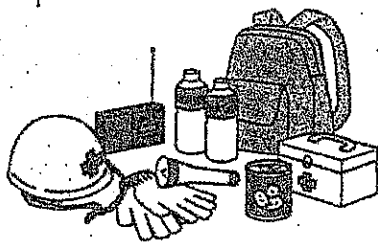
| | |
|--------------------|---|
| 学 校 の 名 称 | 高松市立川島小学校 |
| 派 遣 内 容 | 防災教育に関する出前授業 |
| 日 時 | 令和4年 12月 2日 (金) 9:20 ~ 12:00 |
| 場 所 | 6年各教室 |
| 対 象 者 数 参 加 人 数 | 児童数 84 名 クラス数 3 クラス 教職員 3 名 その他 0 名 |
| 内 容 ・ 日 程 等 | 地震・津波発生の仕組み、発生時の対応について、各教室で、一時間ずつ出前授業を行いました。 |
| 取 組 に お け る 成 果 | 地震発生の仕組みや地震時にとるべき行動を分かりやすく説明していただいた。防災リュックを実際に見せていただいたことで、興味がわき、実際に帰宅後、保護者に買いに行こうと、相談した児童がおり、具体的行動が想像しやすい内容となっていた。普段から、防災リュックを準備している家庭もあり、防災に意識を向けやすかったようである。4年生時に防災について総合的な学習の時間で学習していたことや地震・ため池決壊における避難訓練を11月に行っていたことも意識がつながって考えられる要因となったようである。家に帰ってからの呼びかけがあったり、クイズ形式で内容を確認する場面があったりと参加しやすい内容となっていた。避難するときにも必要な物3つを考えることは、逆に避難に必要な物も考える機会となっていたように感じられた。 |
| 今 後 の 課 題 | 今後、家庭と連携をとり、啓発していくことが必要であると感じた。児童は、防災リュックが必要と感じても、家庭で必要なのだと感じてもらわなければ児童だけで行動に移すことは難しい。参観日に防災に関する授業を行ったり、地域や家庭を巻き込んで避難訓練を行ったりすることができれば、地域のつながりや防災意識の高まりが期待できるのではないかと考える。また、春日川のほとりに、学校が位置し、数年前に運動場が浸水していることから防災意識を高めていくことが必要なのだと感じられた。 |

注) 当日の写真、資料等がありましたら、添付してください。



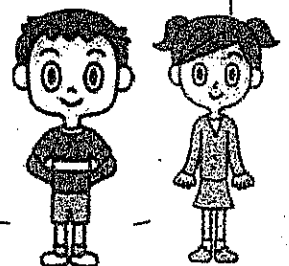
今日学んだこと

日本では、地震が300回もあるということが分かりました。
津波でも、地球一周してはかことが分かりました。
本当に、津波や地震が起きたら自分の命は自分で守りたいと思います。
防災グッズなどもそろえて準備したいと思いました。
いろいろなことを学んだので、役立ててみたいです。



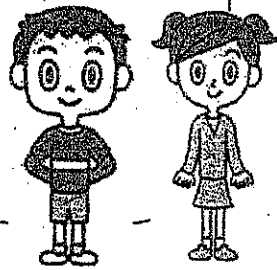
今日学んだこと

災害が起きた時は、自分やみんなの一人一人の正確な知識
や、災害が起きた時のための日頃の備えが大切だ
ということが分かりました。
もし、災害が起きた時、あせらずに、正しくたいしょしよう
と思いました。



今日学んだこと

今回学んだことは、地震と津波のことでした。
自然災害の恐怖さや、危険さなどを学びました。
また、自然災害が起きた際に対応できるように
避難場所を確認したり、防災グッズの用意を
していないので家族と準備したいです。



今日学んだこと

改めて、地震、津波はこわいと思っ
た。いざというとき、対応できるように
防災グッズを準備したり、
避難場所を決めておきたい。
この授業を避難訓練とかに
活かしたい。

